



ガンキッズ VOL.2



豊岡市教育委員会
こども育成課
2022年7月22日(金)発行



こちらをチェック♪
運動遊びに関する情報を
アップしています♪



豊岡市では「心豊かな子ども」を育成する取組
運動遊び事業を推進・展開しています

運動遊び巡回訪問こんなことしたよ!

～かけっこの様子～



いちについて...
よーい、ドン!

▲合図と同時に元気いっぱい駆け出す
子ども達! 思いきり体を動かす気持ち
よさを感じてくれたかな?

【夢川保育園】

～動物変身の様子～



変身、変身♪
な～にに、変身?

カニ!

▲変身ごっこ遊びで色々な動物になりきり、
日常生活であまり使わない筋肉をたっぷり動
かして遊びました!

【出石愛育園】

～魚釣りの様子～



魚が釣れるかな?!

絶対に
離さないぞ!

◀カッコいい魚に変身!
ぎゅっと握る力を発揮し
てスピード感のある魚釣
り遊びを楽しみました!
【豊岡ひかり幼稚園】

～ヘビジャンプの様子～



ヘビがくるよ!
全員無事に逃げ切れるかな?

きたきた!
みんな気を付けて!

▲縄ヘビの動きをよく見てジャンプします。
みんなで気持ちを合わせてチャレンジ大成
功! 友達同士で「イエーイ!」と喜び合う姿
が見られました! 【港認定こども園】

ゴールまであと少し!
最後までみんなで
頑張りましょう!

力を合わせて
よいしょ!



▲先生マグロを釣りにあげよう! 漁師役の
時も、体の力をたくさん使っています!
【きよたき認定こども園】

1回目の運動遊び巡回訪問では、かけっこや動物変身など
を楽しみ、全身をたっぷり動かして遊びました。
初めて運動遊びを経験する子ども達も、色々な遊びに興味
を持ち、先生や友達と一緒に楽しむ姿が見られました!
これからも、子ども達の「笑顔」と「挑戦意欲」をたくさん
引き出す運動遊びを展開していきたいと思ひます。

気温が上がり、夏本番となってきました。暑い日が続きますが、水遊びなど夏を満
喫し、元気にお過ごしください。

さて、今回の運動遊び巡回訪問も、友達と一緒に思い切り体を動かして遊んだり、
色々な挑戦を楽しんだりできるような運動遊びをしました。

今年は各園年間4回巡回訪問させていただき予定です。どうぞよろしくお願いいたします
します。

こども育成課 仲義 健(なかぎ たける)・上野 真希(うえの まき)

体を動かした遊びは「自分で考えて行動する力」を育てる!

子どもの脳は発達途中なので、状況に応じて考えたり、見
通しをもって行動したりすることがまだ難しいです。そこで
ぜひ、楽しく体を動かして遊ぶことをおすすめします!

じつは、状況に応じて判断したり、見通しをもって行動し
たりする脳の前頭前野(※参照)という部位は、体を動かすと
活性化することが分かっています。つまり、体を動かした遊
びは、自分で考えて行動する力を育てることに役立ちます。

子どもがたくさん体を動かして遊べるよう、家でもぜひ、
親子で体を動かした遊びを楽しんでみてください♪



もう!
いつまで見てるの!
もうすぐ寝る時間よ!



え〜...
まだいいでしょ〜

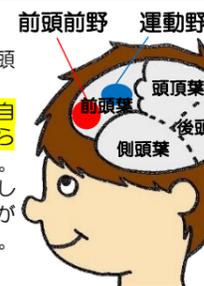
こんな姿につながると嬉しいですね♪



もうこんな時間だ!
そろそろおしまいにしよう

あら、言われる前に
行動できるなんて!

(※)前頭前野って?
大脳は前頭葉、頭頂葉、後頭葉、側頭
葉に分けられます。
前頭葉の前頭前野は、意志・言語・自
我・自己抑制力といった、人間が人間ら
しく生きるための活動を担っています。
体を動かすことで運動野が活性化し
ますが、この時、前頭葉全体の血流量が
増えるので、前頭前野も活性化します。



参考文献: 柳澤弘樹 監修「発達障害の子の脳を育てる運動遊び」/講談社(2015)

親子でチャレンジ☆

しっぽとれるかな?

【身に付く力】
脚力・協調性



まてまてー!



こっち、こっち!
追いつけるかな~!?

大人は腰からタオルをぶら下げ、
しっぽをつくります。
子どもは大人のしっぽを取りに行
きます。大人はしっぽをとられない
ように逃げましょう。
しっぽをとられたら、役割を交代
して遊びましょう♪

人間メリーゴーランド

【身に付く力】
回転感覚・ぶら下がる力



よーい、ドン!



ストップ!

またまた
よーい...
ドン!

二人でタオルの端と端を握ります。大人が軸になって、
子どもは大人の周りをぐるぐる回ります。大人の合図が聞
こえたら、その場でピタッと止まりましょう。
スキップやジャンプ、片足とびなど、色々な動きで挑戦
してみましょう♪

※手が離れて転ぶことがあるので、広い場所で遊びましょう。

1日5分 心 が変わる 体 が変わる 親子でふれあい運動遊び

難しいことをする必要は全くありません。親子のスキンシップを兼ねて毎日少しの時間でも続けてみましょう!